

ラーニング・サポーター ♪ 5月のつぶやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つぶやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

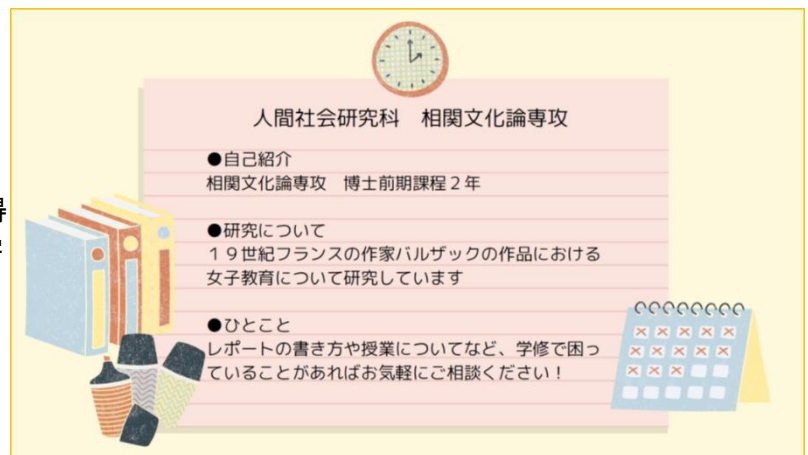
<5月のつぶやき♪INDEX>

- p1 韓国語学習のきっかけ @H.C.(相関文化論専攻博士課程前期2年) 5月8日 tweet
p2 ハネムーン・イン・ベガス @T.R.(英文学専攻博士課程前期2年) 5月8日 tweet

つぶやき1♪ 韓国語学習のきっかけ

今回のつぶやきでは、私の語学学習についてお話ししてみようと思います。

私は韓国語能力試験で最上級の6級を取得しています。韓国語に興味を持ったのは、小学生の時に母が韓流ドラマにはまったことがきっかけです。母は吹替よりも字幕派だったので、一緒に見ているうちに簡単な相槌や短い単語を自然と覚えることができ、よく真似をして話していたのを覚えています。本格的に韓国語を勉強するようになったのは、K-POPを好きになってからです。現在は日本でも大衆的な人気を獲得しましたが、小学生から中学生の頃はクラスに一人でもK-POP好きがいたら感動したくらい、マイナーな趣味でした。そのため、好きなアイドルの新曲が出て、誰かが日本語に訳してくれるのを待つしか歌詞の意味を知るすべはなく、しかも、アルバムの収録曲は訳す人がいないことが多いため、歌詞の意味を理解する日は来ないのだと思っていました。しかし「自分で訳せばいいんだ！」と思い立ってからは、全く読めない文字を歌詞カードを見ながら書き写し、単語帳の索引から似ている形の文字のページに飛び、読み方と意味を調べる日々。これを色々な曲で繰り返しているうちに、自然と韓国語が読めるようになり、聞き取れるようになり、自分でも気づかぬうちに韓国語を理解できるようになっていきました。テキストを買って勉強したというわけではありませんが、「好きな曲の歌詞を知りたい！」という明確な目標があったこと、曲やドラマを楽しみながら勉強できたことが続けられた要因かなと思います。学部生の時に参加した韓国研修や、勉強していてよかったことなど、話したいことはたくさんありますが、それはまた次の機会に。



人間社会研究科 相関文化論専攻

- 自己紹介
相関文化論専攻 博士前期課程2年
- 研究について
19世紀フランスの作家バルザックの作品における女子教育について研究しています
- ひとこと
レポートの書き方や授業についてなど、学修で困っていることがあればお気軽にご相談ください！

つぶやき2♪

ハネムーン・イン・ベガス

新学期が始まり約1か月が経ちますが、皆さんは新しい環境慣れてきたでしょうか。私は先日、池袋にある東京建物 Brillia HALL で上演していたブロードウェイミュージカル、「ハネムーン・イン・ベガス」を観劇してきました。こちらの作品は、1992年にアンドリュー・バーグマンが監督・脚本を担当し、ニコラス・ケイジとサラ・ジェシカ・パーカーの出演で公開された映画をミュージカル化した作品です。2015年にブロードウェイで上演された本作は、今回が日本初上演です。

ラスベガスとハワイを舞台に、主人公ジャックとジャックの恋人ベッツィの結婚までのドタバタな恋愛騒動を描くコメ



文学研究科 英文学専攻

<p>自己紹介 文学研究科 英文学専攻 博士課程前期 2年</p>	<p>研究対象 アメリカ文学 ➡現代作家ポール・オースター</p>
<p>ひとこと 英文学科の学生、教職履修されている方はもちろん、お役に立てることであればその他学修相談もお待ちしています！</p>	

ディミュージカルです。ジャックの死んだ母親ビーから言われた「誰とも結婚しないで！」という言葉の呪いに囚われ、5年も交際している恋人に結婚を申し込むことができないジャックの前に、ギャンブラーのトミー・コーマンという男が現れ、彼の死んだ妻と瓜二つのベッツィを見つけると、ジャックからベッツィを奪うためベッツィを連れてハワイ旅行に出かけてしまいます。果たしてジャックはベッツィを取り戻し、無事に結婚できるのかという展開でした。

池袋での観劇後、2015年のブロードウェイ版を手掛けたジェイソン・ロバート・ブラウンが今回の日本公演を観劇し、そのことをブログに書いている興味深いページを見つけました。「ハネムーン・イン・ベガス」は自分の作品の中では幅広く理解されるショーの一つだと思っていたが、マウント・キスコ(ニューヨークの町)、フォックスウッズ(統合型リゾート)、アトランタで乗り継ぐ飛行機など、非常に特殊な文脈を理解できる必要があり、自身を「アメリカ的」な作家だと思っていないが、他の国で自分のショーを観ると、その多くの振舞や文化的な言及がいかに神秘的であるか気づくと語っていました。

都市の名前や文化的な言及を理解できないというのは観劇した多くの日本人を当惑させたかもしれない一方で、作品のテーマ自体がつかみやすく、コメディミュージカルということもあり、一つ一つの文脈を理解できなくても物語を楽しむことができるというのがこの作品の魅力かと思いました。また、アメリカを舞台としたこの作品を日本で上演したことだけでなく、この作品を今回観劇した層にも特徴があり面白いのですがこれは来月つぶやこうかと思えます。

[参考 URL]

ハネムーン・イン・ベガス

<https://www.honeymoon-musical.jp> (最終閲覧日:2024年5月1日)

ジェイソン・ロバート・ブラウン氏 ブログ

<https://jasonrobertbrown.com/2024/04/23/honeymoon-in-tokyo-and-ice-cream/> (最終閲覧日:2024年5月1日)



ラーニング・サポーターのつぶやき (2024年5月)

ホームページ https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html

編集: JWU ラーニング・コモンズさくら